

松本市地域づくり推進交付金事業報告書

申請者（団体）名 新村地区あたらしの郷協議会

1 事業名： あたらしの郷協議会事業	
実施主体	あたらしの郷協議会
実施日（期間）	平成28年4月1日～平成29年3月31日
実施場所	新村公民館
事業概要	<p>1 広報委員会事業 あたらしの郷協議会の動き、大学連携事業などを広報</p> <p>(1) 協議会だよりの発行 ・協議会だよりの第2号を作成（H29.2.1 全戸配布）</p> <p>(2) ホームページによる広報 ・松本市及び松本大学のホームページで情報を発信</p> <p>2 安全安心部会事業</p> <p>(1) 地域防災活動事業 ・防災講演会（H28.8.28） ・視察研修（富山：四季防災館 H28.9.6） ・特殊詐欺防止講演会の開催（H29.2.9） ・ささえ愛カードの確認 ・防災訓練の検討及び訓練実施 ・避難所運営訓練の検討 ・防災体制と防災マップの検討</p> <p>(2) 通学路の除雪と安全確保 ・通学路の見守り</p> <p>3 いきいき部会事業</p> <p>(1) 地域見守り事業 ・通学路の見守り</p> <p>(2) いきがづくり事業 ・カラオケによる集い、健康体操 ・銭太鼓づくりと踊り ・福祉ひろば20周年記念事業の検討と実施（H28.10.29）</p> <p>(3) プチ送迎ボランティア助成事業</p> <p>(4) 宮田中町会のサロン視察研修（H28.12.13）</p>

	<p>サロン立上げの検討</p> <p>(5) 健康づくり講座（松本大学 根本教授）（H29. 3. 14）</p> <p>4 学びの友部会事業</p> <p>(1) 世代間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツによる幅広い年代層の親睦（H28. 11. 27） <p>(2) 新の郷ウォークラリー（H28. 10. 2）</p> <p>(3) 新村のホタルを育む会</p> <p>(4) 健康づくり講座（松本大学 根本教授）（H29. 3. 14）</p> <p>5 地域振興部会事業</p> <p>(1) 松本大学と「新村地区の未来を語る会」（H28. 12. 17）</p> <p>(2) 旧新村駅舎の検討</p>
地域づくりの 成果・効果	<p>あたらしの郷協議会の組織を見直し専門部会を置く中で、部会長に充て職（組織代表）ではなく、その分野に適した方を人選し部会を運営したことにより、住民主体の積極的な運営ができた。</p> <p>各部会で、課題解決に向けた事業を考え、実践したことにより新村地区の地域づくりの推進が図られた。</p> <p>特に次の点で成果があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 松本大学と地域連携協定の締結により、特性を活かした地域づくりを考える機運がさらに高まった。 2 「協議会だより」を発行し、地域住民へ協議会の活動と地域づくりへの理解を広く広報できた。 3 地域防災、地域の安全対策等の地域課題に対し、大学との連携による防災活動、防災訓練を行ったほか、地域の子供たちの除雪対策、通学路の見守り活動に取り組めた。 4 高齢者のいきがいつくりとして、要望のあったカラオケや銭太鼓事業（手づくりから踊りまで）を実施したことにより、福祉ひろばがより元気な集いの場となった。 5 公民館と連携し、世代を超えた交流ができた。
課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 町会連合会とあたらしの郷協議会の関係が地域住民に理解されていない。地域は町会連合会が主体だが、町会連合会だけでは解決できない地域課題等を協議会（住民参加による地域全体）で取り組むことへの理解を広める広報活動を行う。 2 動き出したところなので、役員が中心となった活動になってしまう事業もあるが、より一層住民参加による活動にしたい。
事業決算額	5 2 4, 3 4 8 円（うち交付金 4 6 2, 8 6 9 円）

※ 事業実施が確認できる資料（チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等）を添付してください。